

**令和 6 年度のハローワークのマッチング機能に
関する業務の評価・改善の取組
(ハローワーク総合評価) の結果概要**

沖縄労働局職業安定部

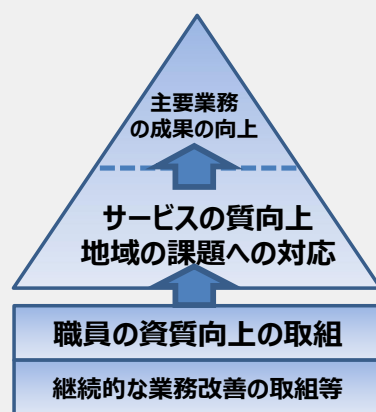
- 1. ハローワーク総合評価【概要】**
- 2. 令和6年度ハローワーク総合評価【評価結果】**
- 3. 令和6年度ハローワーク総合評価【目標達成状況】**
- 4. 令和6年度ハローワーク総合評価【取組状況】**
- 5. 令和7年度ハローワーク総合評価【目標項目及び目標値】**

1. ハローワーク総合評価【概要】

- ハローワークにおけるマッチング機能強化を目的に、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を実施。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

(1) PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 就職件数等の主要指標のみに基づくPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、
 - ① 業務の質に関する補助指標
 - ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標
 - ③ ハローワーク毎に、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である所重点項目を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、
マッチング機能を強化

(2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果（主要指標）を毎月公表。
- 年度終了後、業務の成果（主要指標・所重点指標）や質（補助指標）、職員の資質向上・業務改善の取組（所重点項目）の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
- ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、
業務改善を図った事項、
業務改善が必要な事項、
総合評価、指標ごとの実績
及び目標達成状況などを公表。

- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

(3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施。
 - ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導。
 - ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導。
 - ③ 相対的に高評価であったハローワークにおける取組事例を全国展開。

次年度以降も
(1)～(3)を実施

2. 令和6年度ハローワーク総合評価【評価結果】

- 同一グループ内（注1）で各ハローワークの総点数を比較の上、グループ毎の総点数の平均値を基準として、「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のための計画的な取組が必要」の4段階（注2）の相対評価を実施。
（※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染動向を踏まえ、本省における相対評価は行っていない。）
- 前年度と比較すると、宮古所、八重山所が「標準的な成果」から「良好な成果」に類型を一つ上げた一方、那覇所が前回の「良好な成果」から「標準的な成果」に類型を一つ下げ、沖縄所、名護所は前年度と変わらない「標準的な成果」となった。

評価区分		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和2年度	
			全国数 (構成割合)		全国数 (構成割合)		全国数 (構成割合)		全国数 (構成割合)
類型1	非常に良好な成果	—	0所 (0.0%)	—	3所 (0.7%)	—	4所 (0.9%)	—	0所 (0.0%)
類型2	良好な成果	2所 (宮古・八重山)	224所 (52.3%)	1所 (那覇)	218所 (50.9%)	3所 (名護・宮古・八重山)	226所 (52.1%)	5所 (那覇・沖縄・名護・宮古・八重山)	224所 (51.6%)
類型3	標準的な成果	3所 (那覇・沖縄・名護)	204所 (47.7%)	4所 (沖縄・名護・宮古・八重山)	207所 (48.4%)	2所 (那覇・沖縄)	195所 (44.9%)	—	194所 (44.7%)
類型4	成果向上のため 計画的な取組が必要	—	0所 (0.0%)	—	0所 (0.0%)	—	9所 (2.1%)	—	16所 (3.7%)

注1) 全ハローワークについて、労働市場の状況や業務量が同程度ものでグルーピングし、11グループに分類

注2) 4類型の設定方法 ・グループ毎に総点数の平均値を算出し、その平均値を基準として、平均値以上を類型1・2、平均値未満を類型3・4に区分

・ 類型1・2のうち、総点数が満点以上*を類型1、それ以外を類型2と設定

・ 類型3・4のうち、グループ平均値の80%未満**を類型4、それ以外を類型3と設定

* 目標達成状況により総得点が満点(目標達成率100%だった時に達する得点水準)を超える場合があり得る

** 規模が大きい1Gは平均値の90%未満、2～5Gは平均値の85%未満と、基準を高く設定

注3) 令和6年能登半島地震の対応を考慮し、石川労働局管内の6安定所においては、令和5年度及び令和6年度総合評価の取りまとめを実施せず。

注4) 令和2年度評価結果については、新型コロナウイルス感染症の影響下での結果であることに留意が必要(令和3年度は相対評価を実施せず)

3. 令和6年度ハローワーク総合評価【目標達成状況】

- 主要指標である「就職件数」、「充足数」について、一部ハローワークで目標を達成したものの、全体では目標値を下回った一方「雇用保険受給者の早期再就職割合」については、ほとんどのハローワークで目標を上回った。
- 補助指標である満足度調査結果について、「求職者満足度」については、3ハローワークで目標の満足度95%を上回った一方、「求人者満足度」については、全てのハローワークで目標の満足度90%を下回った。
- 所重点指標については、「正社員就職に結びついた氷河期世代等の件数」、「障害者の就職件数」、「人材不足分野の就職件数」で目標を下回った。

	指標	全所必須指標					所重点指標								
		主要指標			補助指標										
	項目	就職件数 (一般)	充足数 (一般、受理地ベース、オンライン自主応募含)	雇用保険受給者の早期再就職割合	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、正社員就職に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数	就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	わかものハローワーク等を利用して就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合	公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口65歳以上の就職率
沖縄局	目標	19,960	19,153	37.5%	90.0%	95.0%	1,200	68.1%	1,883	2,863	71.0%	1,121	95.9%	5,711	83.4%
	実績	19,005	18,537	39.7%	82.7%	95.0%	1,186	72.0%	1,879	2,937	73.5%	1,415	102.0%	5,690	92.7%
那覇所	目標	8,472	8,753	36.6%	90.0%	95.0%	517	68.6%	933	2,494	71.0%	542	95.9%	2,172	83.4%
	実績	7,896	8,356	39.7%	80.6%	89.6%	455	68.7%	931	2,512	70.7%	633	107.6%	2,259	97.7%
沖縄所	目標	6,334	5,631	37.4%	90.0%	95.0%	393	68.4%	656	-	71.0%	434	95.9%	2,175	83.4%
	実績	5,685	5,122	38.6%	78.6%	94.2%	445	80.0%	633	-	73.2%	580	96.2%	1,992	89.6%
名護所	目標	2,014	1,628	41.0%	90.0%	95.0%	149	61.1%	130	157	71.0%	95	-	585	83.4%
	実績	1,838	1,573	43.3%	87.7%	98.0%	139	80.6%	146	202	94.5%	142	-	566	76.5%
宮古所	目標	1,622	1,532	39.7%	90.0%	95.0%	73	-	61	106	-	27	-	370	-
	実績	1,850	1,809	41.1%	75.0%	98.1%	96	-	62	99	-	34	-	503	-
八重山所	目標	1,518	1,609	41.8%	90.0%	95.0%	68	-	103	106	-	23	-	409	-
	実績	1,736	1,677	39.8%	89.2%	95.4%	51	-	107	124	-	26	-	370	-

※濃い青色の網掛け部分は目標達成した指標

4. 令和6年度ハローワーク総合評価【取組状況】

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 求職者への就職支援

- ◇求職者担当者制による求職者のひとり一人の状況に応じた個別就職支援の実施（全所）
- ◇「自己理解」、「仕事理解」を深めることを目的とした各種セミナーや求人説明会等を開催（全所）
- ◇「求職者マイページ」の開設の推進による迅速な求人情報や就職支援情報の提供による早期マッチング推進（全所）
- ◇高年齢者と企業のマッチングに向けたシニア向け企業説明会の開催（全所）
- ◇履歴書不要で気軽に参加できる「カジュアル企業説明会・面接会」の開催（那覇）
- ◇雇用保険受給者の早期再就職を図るため失業認定日における認定日全員職業相談の実施（名護、宮古、八重山）
- ◇ハローワークを利用していない者へのSNSによるハローワーク支援サービスの周知及び利用勧奨（那覇、沖縄、宮古）

② 求人者への求人充足支援

- ◇求人担当者制による求人受付から求人充足までの一貫した求人充足支援の実施（全所）
- ◇求人者が直接、自社の魅力を求職者に発信できる、企業PR、ミニ企業説明会の開催（全所）
- ◇観光関連企業への求人充足を促進するための「観光関連求人充足キャンペーン」による観光業界の魅力発信（全所）
- ◇介護分野の求人充足促進するための「介護職マッチングキャンペーン」により企業説明会・面接会を開催（全所）
- ◇人材不足分野における人材確保のための業界別セミナー及び事業所見学会の開催（那覇、沖縄）
- ◇求人担当と紹介担当のペア制による事業所訪問を行い、充足支援策及びアンケート結果に基づく求職者動向を説明（宮古）
- ◇事業所に対する採用活動及び人材流出を防ぐための雇用管理セミナー及び個別相談会の開催（八重山）



(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ◇事業所訪問により収集した就労場所の写真や現場担当者のインタビュー等を掲示。（那覇、宮古）
- ◇企業と気軽に話せる「カジュアル企業説明会・面接会」を実施（那覇）
- ◇管轄内の子育て支援センターを訪問し、マザーズコーナー活用を周知（那覇）
- ◇本所で開催していたミニ企業説明会、シニア面接会をふるさとハローワークでも実施（那覇、沖縄）
- ◇高齢求職者を対象とした「シニア応援セミナー」の開催、60歳以上限定求人の開拓（宮古）
- ◇自治体と連携して県外で開催された移住者相談会にて管内の求人・雇用状況等の説明を実施（八重山）



5. 令和7年度ハローワーク総合評価【目標項目及び目標値】

主な変更点

- ハローワーク総合評価を通して、業務ごとの実績を管理・分析し、その状況を公表するとともに、次年度以降の業務改善に繋げていくことは、ハローワークのマッチング機能を強化するために、必要かつ重要な取組であるため、令和7年度も引き続き実施。
- 企業の人手不足感が強まる中、令和7年度ハローワーク評価においては、マッチングの質の確保等を図るため、所重点指標の一部見直しを行った。

- ◇「新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職件数」→「新卒者等支援に係る就職支援ナビゲーターの担当者制による就職支援を受けた者の正社員就職率」に変更。
- ◇「正社員に結びついた就職氷河期世代（35歳～56歳）の不安定就労者・無業者の件数」→「就職氷河期世代を含む中高年層（35歳～59歳）の不安定就労者・無業者の正社員就職件数」に変更。
- ◇「わかものハローワーク等を利用して就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合」→「フリーター等支援に係る就職支援ナビゲーターの担当者制による就職者支援を受けた者の正社員就職率」に変更。
- ◇「公的職業訓練の修了3か月後の就職件数」→「公的職業訓練の修了3か月後の就職率」に変更。
- ◇「人手不足分野（医療・福祉、建設、運輸、警備等）の就職件数」を全安定所で必須指標として設定。

	主要指標			補助指標		所重点指標									所重点項目
	就職件数（一般）	充足数（一般、受理地ベース、オンライン自主応募含）	雇用保険受給者の早期再就職割合	満足度（求人者）	満足度（求職者）	生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	障害者の就職件数	新卒者等支援に係る就職支援ナビゲーターの担当者制による就職支援を受けた者の正社員就職率	ハローワークの職業紹介による就職氷河期世代を含む中高年層（35～59歳）の不安定就労者・無業者の正社員就職件数	フリーター等支援に係る就職支援ナビゲーターの担当者制による就職支援を受けた者の正社員就職率	公的職業訓練の修了3か月後の就職率	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	人手不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率	オンライン登録者のハローワーク利用登録者への切替
沖 縄 局	18,389	17,693	39.3%	81.0%	93.0%	69.6%	1,879	62.2%	1,200	50.8%	72.3%	96.9%	5,673	87.0%	4,753
那 覇 所	7,944	8,086	38.3%	81.0%	93.0%	70.0%	931	62.2%	510	50.8%	73.1%	97.1%	2,263	87.0%	3,340
沖 縄 所	5,664	5,131	39.8%	81.0%	93.0%	70.1%	633	—	403	50.8%	73.2%	96.8%	2,044	87.0%	545
名 護 所	1,747	1,557	40.8%	81.0%	93.0%	63.0%	146	62.2%	146	50.8%	72.3%	—	595	87.0%	485
宮 古 所	1,581	1,521	41.4%	81.0%	93.0%	62.5%	62	62.2%	75	—	58.0%	—	412	—	92
八 重 山 所	1,453	1,398	42.0%	81.0%	93.0%	62.5%	107	62.2%	66	—	64.0%	—	359	—	291